

2016年1月5日

報道関係者各位

全日本大会のご報告

昨年12月27日～30日にかけて模擬国連会議全日本大会が開催されました。日本だけでなく9カ国からの参加者を招き、320人近い学生が集い、7つの議場に分かれて会議をしました。

シリア情勢の和平交渉や国連安保理でのISIS対策等ホットな問題を議論する会議もあれば、英語会議も行われました。

開会式では、在シリア特命全権大使を務めていらっしゃった甘江喜七郎氏にご講演いただきました。国益を背負った大使ではあるが、交渉をするのは国と国という無機質なものではなく人と人であり、「笑顔」こそが大事である、ということをお伺いしました。相手を論破することではなく、妥協を図っていくことの重要性を日頃から意識している模擬国連会議において、これは非常に大事なことだと痛感致しました。

また、公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長・法務省特別顧問を務めていらっしゃる横田洋三氏、及び特定非営利活動法人「難民を助ける会」調査研究担当を務めていらっしゃる福井美穂氏をお招きして作成途中の決議案(DR)に対してフィードバックをしていただく機会を設けました。

さらに、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社様よりチームビルディングに関する講習会を開いていただきました。

大会初日に開かれた模擬国連体験会や一般向けの見学ツアーも盛況で、多くの教育機関の方々や企業・メディアの方々、そして高校生や大学生に参加していただきました。

参加していただいた皆様に感謝申し上げます。



<本件に関するお問い合わせ>

日本模擬国連代表部(JMUN Office)広報担当の東深沢までお願いいたします。

[mailto: pub@jmun.org](mailto:pub@jmun.org)